

コロナ禍ではネットを使ったサービスが進みましたね。遠隔での手話通訳もその一つです。スマホやパソコンなど自分の機器で使えるのですが、ぜひ、使い方に慣れてください。

養成講座等の募集について

◆令和3年度手話通訳者養成講座

- ①手話通訳Ⅰ 5月～令和4年2月(全18回)
申込〆切 4月24日 事前審査 5月5日
- ②手話通訳Ⅱ 5月～令和4年1月(全17回)
申込〆切 4月8日 事前審査 4月18日
- ③手話通訳Ⅲ 4月～8月(全7回)
申込〆切 4月8日 事前審査 4月18日

◆要約筆記者養成講座(日程未定、開催予定)

詳細は決定次第、信州難聴者協会またはセンターホームページで案内します。

◆盲ろう者通訳・介助員養成講座(7月開催予定)

詳細はセンターへお問い合わせください。

遠隔手話通訳システム導入



令和3年度から長野県内において「遠隔手話通訳」が利用できるためのシステムが稼働します。令和3年3月時点で約30市町村が導入を決めています。

このシステムは、聴覚障がいのスマホやタブレットを使って通訳者とビデオ電話でつながることができます。

基本的には、手話通訳の同行が難しい場合、例えば、手話通訳者への病気感染が心配される場合や、近隣在住の手話通訳者がいない場合で、通訳者がろう者のところへ出向くのが困難な場合、災害などで現地に通訳者が移動できない場合などです。

遠隔手話通訳で派遣するかどうかは、市町村の派遣担当窓口と申込者の相談で決めることとしていますが、すべてが遠隔手話通訳になるわけではありません。通訳内容や状況によって、同行か遠隔かを決めることになります。

詳しいことは、県のほうで事業紹介の動画やチラシなどを作成中です。情報センターでも詳

しいことをホームページなどでお知らせしていきます。

所長交代のお知らせ

令和3年4月1日から長野県聴覚障がい者情報センター所長が交代します。

新所長 二宮 州子



前職は39年間、東京都福祉保健局に在籍し、10か所の職場を経験してきました。福祉関係業務の経験があるとはいえ、これまでの業務とは全く異なりますので、これから、日々、

勉強しながら、邁進していく所存です。至らぬ点もあると存じますが、皆様からのご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

長野県は、スキー等で慣れ親しんだ場所ですが、もっと長野県を探求していきたいと思しますので、皆様、お気軽に話しかけてください。

前所長 上嶋 太



平成29年4月より4年間、所長として皆さんと一緒に仕事をさせていただきました。特に災害(台風19号や地震、噴火、コロナなど)では、ホームページなどで情報発信しながら、情報の大切さを痛感しました。まだまだ不十分なところもあったと思いますが、多くのみなさんと出会い、話したり情報交換ができたことは、私にとってとても幸せでした。ありがとうございます！4月以降は、別の場所になりますが、聴覚障がいの不便を便利にし自立をサポートする仕事に引き続きかかわっていくこととなりますので、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

詳しいことは、県のほうで事業紹介の動画やチラシなどを作成中です。情報センターでも詳